

中学3年 社会（公民的分野） 3単位

使用教材	『新しい社会 公民』（東京書籍） QUEST CUP ワークブック（教育と探求社）
試験・評価・課題等	定期考査及び平常点（ノート提出、授業態度、課題など）。

学習計画

期間	学習項目	指導上のポイント(レギュラークラス)	指導上のポイント(アドバンストクラス)	
一学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会の問題点 ・近代国家の成立 ・基本的人権の特色① 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の問題点として挙げられる農業問題について学習する。また、日本のあるべき農業の姿について考える。 ・ルールはだれが、どのようにつくるべきか。近代社会の成立過程を理解する。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の差異。 ・基本的人権の「基本的」とは何か。「公共の福祉」による制限とは何か。日本国憲法では平等権、自由権、社会権はどのように保障されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧安全保障論と自由貿易論を通して、TPPの是非について考える。 ・「近代」とは何か、について考える。 ・実質的平等と形式的平等について考える。
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権の特色② ・統治機構① ・統治機構② 	<ul style="list-style-type: none"> ・参政権はどのように保障されているか。新しい人権の「新しい」とは何か。 ・「国権の最高機関」「唯一の立法機関」とは何を意味しているか。また、衆議院の優越について考える。 ・選挙制度について知る。国会と内閣の関係について考える。 ・「適正な」裁判を実現するためには、どのような工夫がなされているか。 ・住民自治と団体自治の違い。地方分権とは何か、を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三権分立はどのような目的で導入されているか、について考える。 ・国と地方でどのように政治制度が異なるか、を理解する。
二学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・経済のしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の歴史について学ぶ。 ・消費と貯蓄について学ぶ。消費者の権利と保護として、悪徳商法の典型例について知る。また、消費者行政はどのような理念のもと、行われているかについて考える。流通のしくみについて学ぶ。 ・価格の決定について理解する。「市場の失敗」について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義と社会主義の違いについて触れる。 ・なぜ日本は高度経済成長を実現できたのかについて考える。

	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・政府の役割 ・金融 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、政府が経済活動を行うのかを考える。また、どのような税制が「公平」であるかを考える。 ・少子化と社会保障制度との関連について知る。 ・財政政策について学ぶ。 ・金融とは何か、について知る。通貨の役割について考える。日本銀行の役割について知る。金融政策の種類について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税率の up について考える。 ・バブル経済とは何か、について考える。
三学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・職業の意義と労働条件の改善 ・世界の平和と日本 ・現代の国際社会 ・国際経済 	<ul style="list-style-type: none"> ・「働く」とは何かを考える。労働基準法について学ぶ。 ・日本国憲法に規定されている「平和主義」とは何か。自衛隊と憲法 9 条の関係について考える。在日米軍について考える。 ・国際連盟と国際連合の違いについて知る。冷戦体制の変遷について学ぶ。 ・自由貿易と保護貿易の違いについて学ぶ。GATT から地域的経済統合、FTA までの流れを知る。南北問題について考える。外国為替について学ぶ。 ・環境問題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の、あるべき安全保障の姿について考える。 ・勢力均衡政策と集団安全保障の違いについて知る。 ・世界の貧困問題の解決策を探る。